

様式

《東松山特別支援学校の活性化・特色化方針》

(平成29年度～)

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・学科	小・中・高	児童生徒数	(男) 85 (女) 38	計 123
ホームページ	http://www.higashimatsuyama-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	東武東上線 森林公園駅（北口）より徒歩約25分					
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・全校で共通のアセスメントを実施し、児童生徒一人一人の課題について教職員間の共通理解を図る。また、系統的な指導に生かす。 ・平成29年度より、高等部は生徒の教育的ニーズ、進路希望などを考慮し、教育課程を生活基礎・生活総合・生活応用の3コースに分け、より個に応じた指導を行う。 					
特色ある学校行事や部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・全校行事として、毎年10月に文化祭「まつぼっくり祭」を実施している。 ・中・高は部活動を行っている。特に高等部の運動部では、毎年県で行われる陸上、バスケット、サッカー大会に参加している。 ・7月に「進路フェア」を実施し、作業所等を招き、情報収集、体験等をとおり、生徒・保護者の進路意識の高揚を図っている。 					
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開を年2回実施。 ・小学部は市の川小学校、中学部は近隣市町中学校7校、高等部は東松山市内高校2校と交流会を実施。 ・東松山市内たんぼぼ作品展に作品を展示。 					
進路について	<p>平成29年3月高等部卒業生のうち約4割が企業就労。 【企業就労先】 製造業（紙製品、菓子等）、老人ホーム、リサイクル等 【福祉的就労先】 東松山市、比企郡、熊谷市及び近隣市町の福祉施設に就労</p>					

(※児童生徒数：H29.5.1現在、進路はH29.3卒業生の状況)

本校の魅力！

一人一人を大切にす指導の充実

- ・アセスメント、保護者との面談をもとに、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、一人一人のニーズに合った指導をします。
- ・小・中学部では、支援籍学習を実施し、地域で学ぶ経験をします。
- ・高等部卒業後の進路を見据え、校内実習、産業現場等における実習を行い、希望の進路実現に向け取り組みます。
- ・学年の活動（授業・行事等）をとおして、互いに助け合い、学び合う心を育てます。



色と数の学習



小学部
音楽の授業



現場実習の様子

県立東松山特別支援学校

～児童生徒の成長物語～

松持は、一人一人を大切に
した指導の充実を目指します。

目指すこども像

- ・いのちを大切に、生き生きと生活する子
- ・人とのかかわりをよろこび、たすけ合う子
- ・自分で考え、行動する子

小学部では・・・

- ◎基本的な生活習慣を身につけること、生活リズムの確立を目指します。
- ◎人との関わりを大切にされた教育を行い、生活や学習の基礎づくりを行います。

中学部では・・・

- ◎小学部段階で身につけた力をさらに伸ばし、興味関心の幅を広げます。
- ◎また、集団活動の中でコミュニケーションの力を伸ばします。

学校行事

まつぼっくり祭では全校で取り組み、学習の成果を
発表します。

支援籍学習

居住地の小中学校
で学習します。

交流及び共同学習

小・市の川小学校
中・8校交流会
高・3校交流会

高等部では・・・

- ◎作業学習、産業現場等における実習をともし働くことを体験し、卒業後の進路実現を目指します。
- ◎高1では、個々の教育的ニーズの把握を行い、高2からは、生活基礎、生活総合、生活応用の3コースに分け、より個に応じた指導を行います。

個に応じた支援・指導

- ・アセスメントの実施による児童生徒の実態把握
- ・個別の支援計画、個別の指導計画の作成

関係機関との連携

- ・市町村教育委員会との連携
- ・福祉行政との連携
- ・就労支援センター等との連携

地域との連携

- ・コーディネーターを中心とした地域支援
- ・地域企業等における現場実習

保護者との連携

- ・保護者会、授業参観、個別面談等
- ・PTA活動